

# 県立図書館だより

## 主催事業のお知らせ

— 県立図書館で開催される行事を紹介しませう —

### 第5回 県立図書館おはなし会

3階多目的ホール

期日：9月10日（土）10：30～11：30 担当 おはなしたんぽぽ 対象：幼児から小学生低学年

申し込み・問い合わせ：子ども読書支援センター

TEL 018-866-0266（火～土13：00～17：00）



## 県立図書館コンピュータ新システムについて①

サービス業務の効率化や迅速化など利用者サービスを大きく向上させるコンピュータシステムが新しくなります。

### ◆新システムによる新たなサービス

これまでのサービスに加えコンピュータや携帯電話においてインターネットでの蔵書検索や資料の予約、さらに県内総合目録の検索、一般電話での音声サービスなど、幅広いサービスを行う予定です。

### ◆新システムによるサービスの開始 平成17年10月中旬

### ◆システム導入に伴う特別整理期間 平成17年10月1日～10月16日



## 第2回秋田ふるさとセミナーについて（お知らせ）

11月29日（火）第2回ふるさとセミナーが開催されます。演題は「ピクニック計画と桜」（仮称）で、講師は在ハンガリー日本文化協会代表の糸見 愼氏です。楽しく受講できるようテーマにまつわる事を3回にわたってご紹介いたします。多くの皆様のご参加お待ちしております。

### ハンガリーという国

ハンガリーはそれほど北にある国ではなく、夏に気温が35～36度にもなります。人口1000万人のほとんどがアジア系のマジャール人で、他にドイツ系、スラブ系ルーマニア系の少数民族やロマ族（ジプシー）が住んでいます。もちろんNATO加盟国でもありますが、昨年2004年の5月1日よりEUに加盟し、2010年にはユーロが導入されます。

ハンガリーの歴史は、現在のモンゴル辺りにいた遊牧騎馬民族が8～9世紀にヨーロッパで建国し、1000年にローマ法王より王冠を授けられてキリスト教国家となった事に始まります。以後、13世紀にモンゴルの襲来を受けたりもしましたが、15世紀のマーチャーシュ王の時代には、ヨーロッパで最大の国にの一つになりました。ただ、それ以後オスマントルコとの戦いによって領土が縮小し、今は四国と北海道を合わせたぐらいの小さな国となっています。しかし、そのような中でも独自の文化を持ち続け、ノーベル賞受賞者やリストやバルトークのような音楽家を数多く輩出しています。

ハンガリーには、ホロク古村落、アッグテレク鍾乳洞、ペーチの初期キリスト教徒の墓地、トカイワイン地域の文化的景観など8か所の世界遺産があります。特にブタペスト（ドナウ川河岸とブタ城地区及びアントラーシュ通り）は、「ドナウの真珠」と呼ばれ、その風景が世界遺産となっている世界遺産の地区です。パンノンハルマのベネディクト会修道院は、1000年以上途切れることなく修道僧が修業していた地です。また、ホルトバージ国立公園は、かつて遊牧騎馬民族であったマジャール人の生活を彷彿させる大平原で、ハンガリー人は、自分たちを一番西へ来たアジア人と考え、一番東へ行った日本人に大変親近感を感じています。

ハンガリーの工芸は、ドイツのマイセンと並んで世界の最高級陶磁器として知られるヘレンドは人気が高くハプスブルグ帝国のフランツヨーゼフ皇帝や貴族に愛され多くの名品を生んで来ました。また、刺繍は鮮やかな色彩で知られ、民俗衣装やテーブルクロス等ハンガリーを代表する民芸品です。ハンガリーには、豊かなワイン文化があります。その源は、歴史的に西洋と東洋、オスマントルコの影響を受け融合した独自の文化を感じることができま

す。（掲載文は、ハンガリー共和国政府観光局局長コーシャ・バーリン・黎氏の講演要旨を「東京神田ロータリー クラブ」神田週報38号より引用いたしました。）

## 今月の県立図書館テーマ展示の紹介

### 第4回展示 わくわく楽しみ夏休み

夏休みの子どもたちの自由研究になりそうな物など 場所：2階閲覧室 期間：7月26日（火）～8月28日（日）

### 第5回展示 世界のことで絵本を楽しむ

洋書絵本や翻訳された絵本など 場所：2階閲覧室 期間：8月30日（火）～9月30日（金）

## 県立図書館司書がお勧めする一冊

— 県立図書館の司書2人が毎回お勧めの本を紹介しませう —

書名 『未来をつくる図書館』 菅谷明子著 岩波書店 2003・9 [推薦者 吉田 孝]

「図書館で夢をかなえたひとびと」～この序章のタイトルが、この本の中身を如実に示している。続けて「最先端のビジネス図書館」、「舞台芸術を支援する図書館」、「図書館のブランド戦略」等の目次タイトルを見るにつけ、読んでみたい気持ちが徐々に強くなっていく。副題に～ニューヨークからの報告～とあるように、この本は、ニューヨーク公共図書館を中心としたニューヨーク市の幅広い、そしてユニークな図書館活動の紹介が中心である。ニューヨーク公共図書館が開館したのは1895年。本館の開館は1899年であり、わずか4年の差しかないが、一番の大きな違いはすでに100年以上前から、現在というところの「NPO」で図書館が運営されてきたことである。図書館の運営の中心に常に市民がいた。このことが、100年の歳月を経て、今の日本の公共図書館ではとても考えられないような、幅広い、ユニークな図書館活動がおこなわれている大きな要因の一つである。読み進むと、違和感を感じる点も若干あるが、逆にうらやましく思える場面がより多くある。

最後に著者は、G7各国と比較した日本の図書館事情の貧弱さ、図書館政策のなさを指摘し、今日本の図書館に必要な事を何点か示唆している。是非、図書館に興味のある人もない人も一度お読み下さい。・・・読んだ後は、図書館の強いサポーターになってくれることを祈りつつ・・・図書館に対するイメージが大きく変わるかもしれません。

書名 『小さな絵本美術館』 鳥越 信著 ミネルヴァ書房 2005・6 [推薦者 岩谷 幸子]

皆さんは、最近絵本を読まれるだろうか？最近読まずとも昔読んだ方もいるだろう。絵本の読み聞かせが主流となる今、あえて絵本の歴史を紹介している本というのはなかなか見ないのではないだろうか。この本によると、「絵本」という言葉は昔からあったわけではなく、「絵入本→画帖→絵ばなし」とへて定着したようである。最初の明治時代の「猿蟹合戦」を見て驚かされたのは猿はよしとして、蟹・蜂・白が頭になっておりそこから人間らしい胴体・手足が生えている？のである。きっと今の子どもはあまり好まないのではないかと思う。時がたつに連れ段々と子どもの好みそうな絵になってきている。また自分のイメージの中では戦時中に発行された絵本は軍事関係の内容ばかりと思っていたが、それは自分の思い過ごしだったことがわかる。絵本を読む人も読まない人も興味深い内容なので読んでもらいたい。

## けいじばん

◆お客様の駐車場について：秋田県生涯学習センター専用駐車場もご利用できるようになりました。

◆子ども読書支援センターの時間変更について

8月より、毎週土曜日の開設は午後1～午後5時までとなります。ご協力お願いいたします。

## 8月の休館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■は休館日です。△は館内整理日です。(月の初日です。)

ご利用は2階閲覧室の図書の閲覧のみとなり、貸出等はいりません)

開 館 時 間

平	日	午前10時～午後8時(4月～10月)
		午前10時～午後7時(11月～3月)
土日・祝日・館内整理日		午前10時～午後5時

休館日の図書の返却は、入口のブックポストへお願いいたします。

編 集 発 行 秋 田 県 立 図 書 館 〒010-0952 秋田市山王新町14-31 TEL 018-866-8400

発 行 日 平成17年8月1日 FAX 018-866-6200

U R L <http://www.apl.pref.akita.jp>

E - m a i l 図書館全般について [apl@apl.pref.akita.jp](mailto:apl@apl.pref.akita.jp) 資料の問い合わせ [houshi@apl.pref.akita.jp](mailto:houshi@apl.pref.akita.jp)